

FAN検隊

平成 30 年8月 8~9 日(土)

黒部川がつくった 3つの扇状地のひみつを発見

田んぼで物差し測定
扇状地の勾配確認
入善、朝日両町を巡る「FAN検隊」標高差1000以上の旅は8日始まり、入善町内の小学5、6年生22人が雄大な地形の成り立ちを学んだ。9日まで。

黒部川扇状地研究所（入善町入膳、水嶋一雄所長）と町が、地域の環境に理解を深めてもらおうと毎年行っている。児童は研究所員と一緒に園家山の砂丘を見学したり黒部川周辺で石を採集したりした。同町小摺戸の田んぼでは物差しを使って傾斜を測定し、黒部川扇状地が100分の1勾配であることを確かめた。

9日は同町吉原の国天然記念物「杉沢の沢スキ」や高瀬



田んぼの傾斜を測定する子どもたち。入善町小摺戸

湧水の庭を訪れるほか、黒部川でラフテイングを体験する。

北日本新聞社後援。

9日の北日本新聞朝刊

連日猛暑日と台風の進路を気にしながら、恒例の FAN 検隊(第14回)が行われました。今年も、町内小学校から22人の児童の参加がありました。

今年は負釣山への道路復旧工事の関係から登山を見合わせました。テーマも「黒部川がつくった3つの扇状地のひみつを発見」に置き換えて、現扇状地・舟見野台地・棚山台地を巡検する取り組みとしました。これまでの沢スキ林・高瀬湧水・園家山・庄助川の観察の他いくつかの場所で扇状地の成り立ちや状況を確認するため、砂・岩石の採取と観察、傾斜測定体験等を行いました。

地域資源の再発見と地域の素晴らしさを感じる巡検となりました。参加児童の研究発表も素晴らしいものとなりました。やがて記録集も作成します。

黒部川 黒部大橋下で砂や石の観察
パンダ石も見つけました。



舟川 川原で黒部川との違いを見つける。舟川の砂や石は茶色が多かったよ。



小摺戸地内 1/100勾配を見つける。



愛本新地内 2/100勾配を見つける。



子どもたち期待のラフティング

水が少なく黒部大橋下から内水面漁協上部まで行きました。途中飛び込んだり水遊びを楽しんだりしました。



入善ジャンボ西瓜 圃場見学と試食は農事組合上田さんのご協力で行いました。

畑から 30.15K のジャンボ西瓜を収穫させてもらい一同その大きさにびっくりしました。当日は 25k の西瓜の試食をさせていただきました。



お知らせ

○ 縄文土器を作ろう(野焼き)を8月25日(土)に墓ノ木自然公園キャンプ場で行います。そこでできあがった作品の展示をうるおい館ギャラリーで行います。(8月26日～9月1日まで)是非ご覧ください。